

千葉県立茂原樟陽高等学校（農業土木部）

—一宮町御堂谷の谷津田周辺—

File 18

活動地：千葉県長生郡一宮町

面積：約 2,400m²

活動開始時期：2003 年 1 月



団体の活動内容について

高校における部活動として地権者や地域住民の方々と連携し、耕作放棄された谷津田の再生・保全活動に 30 年以上取り組んでいます。生きもの調査や観察会を行うほか、継続的に環境に配慮した米づくりを行うことで、豊かな生態系が広がる田んぼを育てています。

これまでに、単調な流れにならないような小落差工を組み入れた農業水路を整備したり、放棄された水田の畔を増やすべく区画を小さくした開墾なども行ってきました。米づくりも、谷津田の生態系の中心的な役割を担うニホンアカガエルの生態に合わせて行っています。生きものに配慮したこれらの田んぼでは、標準区画水田との比較で、動物の個体密度が 1.9 倍に、植物の種数が 1.5 倍になったという調査結果も出ています。

生徒は、開墾した田んぼでの米づくりやそれに伴う維持管理作業を通して、農業と野生の生きものとの関わり合いを体感し、野生の生きものを保全するための視点を身に付けていきます。また、普及活動として、地域住民対象の自然観察会や農業作業体験会、地元保育所への出前授業、中学生やボーイスカウトとの共同作業などに取り組んでいます。



2009 年度は、水路を渡る小さな橋や堰、また休憩場所も整えました



百選の支援を受け、休憩場所ができたことで谷津田が地域交流の場としても機能しはじめています